北海道釧路鶴野支援学校

校長　北　嶋　公　博

幼児児童生徒数　113 名

学級数　23 学級

教職員数　94 名

―急激に変化する社会に生きる幼児児童生徒を育てる学校づくり―

学校教育目標「自立をめざして、明るく、元気に努力し続ける人を育てる」の達成に向け、今年度は重点として鶴野アクション・プラン「急激に変化する社会に生きる幼児児童生徒を育てる学校づくり」を掲げ、保護者や地域と一体となった教育活動を推進している。

特に、パートナーティーチャー派遣事業において、根釧地域の聴覚障がいのある乳幼児の早期教育や各学校等の訪問により、高等学校に在籍する発達障がいのある生徒等の対応に大きな成果を上げている。

―根釧地域や斜網地域への地域支援の取組―

本校は、聴覚障がい教育部門の乳幼児相談室が、根釧・斜網地域で早期療育相談支援を行うとともに、地域の発達支援センターとリモート教育相談等を始め、保護者に安心感を与えられるよう努めている。

特に、特別支援教育パートナー・ティーチャー派遣事業において、根釧・斜網地域の聴覚障がいのある子どもや釧路地域の幼小中高等部に在籍する発達障がい等のある子どもを指導する教員等の支援は大きな成果を上げている。

―学校と地域が一体となった教育活動の推進―

ボランティア活動として、北海道ビルメンテナンス協会釧路地区協議会に御指導いただき、作業学習の成果を発揮する場として、大楽毛地区の小中学校や企業及び一般家庭の窓クリーニングを実施し、好評を得ている。

特に、(株)美警の協力を得て、地域食堂「つるクール食堂」を年２回開催し、ランチセットやお弁当などの調理と接客及び作業製品の即売などの取組は、地域貢献として大きな成果を上げている。

―地域とともにある学校を目指して―

「コロナ禍は、子どもの成長にも影響があると聞いたことがあります。本校においても、運動会や学習発表会、鶴野フェスタなど、子ども同士や地域の方々との関わりのある行事は一層大切になると感じており、いろいろな教育活動をより丁寧に行ってほしいと期待しています。また、本校だからできる幼小中学部と高等部の交流も、引き続き取り組んでほしいと願っています。今後も、本校が「地域とともにある学校」となるよう、PTA として協力していきたいと考えています。」（保護者の声）